

何を使う

機器 スマートフォンまたはタブレット

ソフトウェア（アプリ）

- QRコード作成 ⇒ Studyaid D.B. [数研出版]
- 生徒用アプリ ⇒ Studyaid D.B.ビューア [数研出版]



それをどう使う（それで何ができる）

- ・問題用紙に、解答につながるポイント等リンクする QR コードを印刷する。（問題レベルによって、ポイントを細分化し段階的にすることも可能）
- ・教師が一斉授業の形態で解答を行うことを基本とするが、解答までのプロセスが、QR コードのリンク先に（段階的に）示されていることから、生徒は自らの理解度に応じて、問題に取り組むことができる。
- ・授業時間だけではなく、学習者が自学自習して問題を解いた際に、教師の助けを借りずに自ら解答まで行うことができる。

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

高校 数学

【 Before 】

- すべての生徒が同じ進度で授業を受けていた。
- 授業者による解答に時間がかかっていた。

【 After 】 **メリット**

- 授業時間中は理解を深めることに重点を置き、解答については家庭学習として取り組ませることができるようになった。
- 授業時間内に学習課題を完了できなかった生徒が、自らの力で学習課題に対する「答え」を導くことをサポートできるようになった。
- 授業を欠席した場合であっても、授業の内容について、生徒個々で調べて学習ができるようになった。また、理解が不十分な箇所について、各自でやり直して確認することができるようになった。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他	学習 場面	一 斉	個 別	協 働
	○	○	△			○	○	
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続	○	1人1台端末		○
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等		数学	
		○	○		活用が想定される場面		授業・自習	